

とり つぎ 金光教では「取次」を 大切にしています

「取次」とは、人と神さまの間
に「取次者」がはいる、人の
願いを神さまに祈り、また神
さまの願いや思いを人々に
伝えることをいいます。

金光教は、神さまが「悩み苦
しんでいる人を『取次』で助
けてくれ」と、農民である教
祖さまに頼まれたことから始
まります。

この「取次」で、多くの悩み苦
しんでいる人が助かりました。

私たちは、「取次」を最初に始めた教祖さまを「金光大神」と
お呼びしています。

「取次」は、教祖金光大神さまが取次を始めた江戸時代
末期から現在まで、海外を含む約1500の教会で行われ
ています。

神さま

人々の願いを
神さまに祈る

取次者

神さまの
願いや思いを
人々に伝える

人間

てん ち かね の かみ 「天地金乃神さま」 (一生死なない父母)

金光教では神さまと私たち人間の関係を親と子の関
係にたとえます。天は父、地は母であり、親は神さま、
子は人間、この親子の関係は切っても切り放すこと
が出来ない関係です。

あなたの周りに目を向けてください。お父さん、お母さ
ん、子どもたち、親しい友人…。

山や海、川、そこに暮らす動植物たちを含め、あなたを
取り巻くさまざまないのちが、あなたを生かし、支えて
くれていることに気づくでしょう。

人間をはじめ、あらゆるものをととのえ、生かし、育てよ
うとする天地のいのちを、私たちは「天地金乃神さま」
とお呼びしています。

生かされて生きている私。かけがえのない貴重な人
生。「生まれてきてよかった」と、喜びいっぱいと言える
ような幸せに天地金乃神さまは導いてくださいます。

MEMO

ケータイサイトはこちら▶

Webで
チェック!

金光教

検索



◆ e-mail w-master@konkokyo.or.jp ◆



今日うれしかった ことは何？



うれしかったことを、家族で話題にして分かち合いましょう